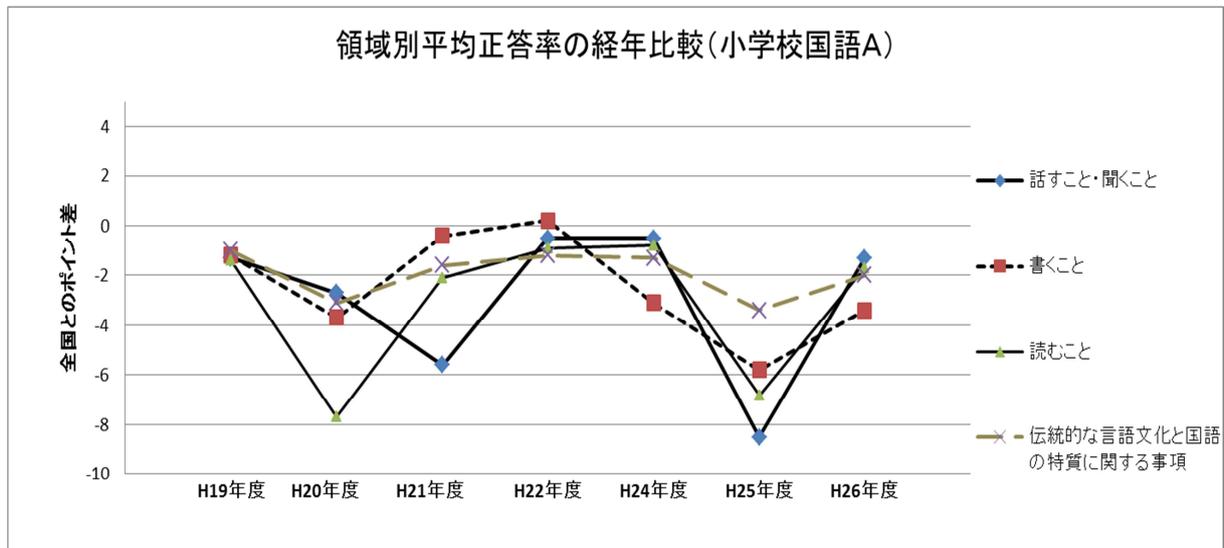


小学校国語における分析

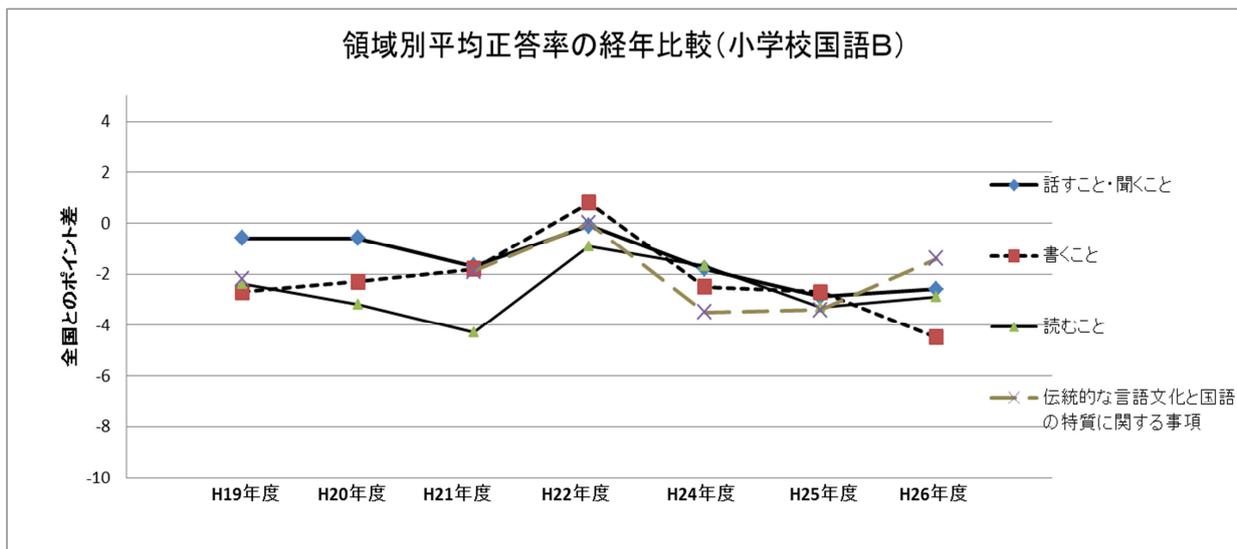
H26 領域別平均正答率の全国との比較【小学校】〔国語〕

国語Aでは、すべての領域で大幅に回復し、全国平均との差を縮めている。国語Bでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については大きく回復したものの、「書くこと」については差が広がっている。「話すこと・聞くこと」「読むこと」については、少し回復した。書くことにおいて、読むこととの関連を図り、表現の描写の工夫の効果を理解することができるように指導することが大切である。



領域別平均正答率の経年変化(国語A)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度
話すこと・聞くこと	-1.3	-2.7	-5.6	-0.5	-0.5	-8.5	-1.3
書くこと	-1.2	-3.7	-0.4	0.2	-3.1	-5.8	-3.4
読むこと	-1.4	-7.7	-2.1	-0.9	-0.8	-6.8	-1.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	-1	-3.1	-1.6	-1.2	-1.3	-3.4	-2



領域別平均正答率の経年変化(国語B)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度
話すこと・聞くこと	-0.6	-0.6	-1.7	-0.1	-1.8	-2.9	-2.6
書くこと	-2.7	-2.3	-1.8	0.8	-2.5	-2.7	-4.5
読むこと	-2.4	-3.2	-4.3	-0.9	-1.7	-3.3	-2.9
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	-2.2	-3.2	-1.9	0	-3.5	-3.4	-1.4

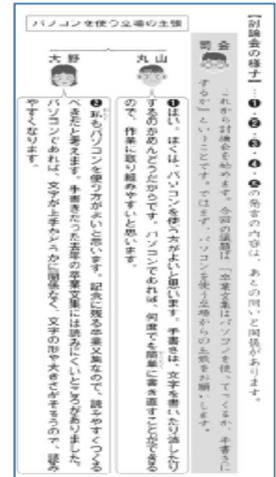
※「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、平成24年度以前は、「言語事項(文法、漢字・ローマ字、書写等に関する内容)」。

小学校国語における改善の視点

話すこと・聞くこと^①の力を伸ばすポイント

○ 司会の役割を理解し、立場や意図を捉えながら話合いの観点を整理しましょう

- ・ 司会は、話し手の発言を受け止め、適切な観点を明確にしていくことが重要です。そのためには、まず発言内容をよく聞き、考えの中心を捉えることが大切です。さらに、複数の発言内容を聞き分け、立場や見解を分類・整理するなどして、話合いのための適切な観点を設定することも大切です。



書くこと^②の力を伸ばすポイント

○ 読むことと関連させながら、物語を創作してみましょう

- ・ 物語などの文学的な文章を、表現の特徴や描写の工夫（行動や表情、会話（内言）、風景など）の効果について考えながら読むことは、物語を創作する上で、大切です。また、登場人物の心情など、直接的な描写だけでなく、暗示的な表現に気付くことも重要です。

○ 複数の文章を比べて読み、自分の考えを書きましょう

- ・ 複数の文章の共通点や相違点を比べながら読み、自分なりに感じたり考えたりしたことを書くことは大切です。そのためには、文章の表現の工夫や特徴を基にして自分の考えを書くことが重要です。

読むこと^③の力を伸ばすポイント

○ 登場人物の人物像や相互関係を捉えましょう

- ・ 物語などの文学的な文章では、登場人物の人物像を捉え、相互関係を明確にしながらか読むことが重要です。そのためには、中心人物と周囲の主な登場人物について、行動や会話文、情景描写などに着目しながら、それぞれの人物像について整理することが必要です。その際、その中心人物を取り巻く登場人物がその中心人物をどのように見ているのか、物語の進行に伴ってどのように変化していくのかに着目できるようにすることが大切です。

○ 詩の解釈における着眼点の違いを捉えましょう

- ・ 詩を様々な着眼点から解釈し、考えたことを交流することは重要です。そのためには、自分の考えと相手の考えとを比較しながら、どのような点が共通していたり、相違していたりしているかを考えながら交流することができるようにすることが大切です。その際、互いの考えを分類して、どのような着眼点に基づくものかを明確にできるようにすることが重要です。



伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項^④の力を伸ばすポイント

○ 故事成語の意味や使い方を正しく理解し、実生活の中で用いましょう

- ・ 故事成語の意味や使い方を正しく理解し、実生活の中で起こる出来事や、その様子を故事成語を用いて表すことは重要です。そのためには、長い間使われてきた故事成語に興味をもち、その意味を調べてカードに記録するなど、先人の知恵や教訓、機知に触れることができるようにすることが大切です。その上で、実生活の中で使ってみることが大切です。